



古城戸茂八郎関係資料目録

太宰府市公文書館

文書群名 太宰府市梅香苑 古城戸茂八郎関係資料
年 代 大正期～昭和 40 年代
数 量 143 件 (203 点)
収蔵形態 寄贈資料
内 容 旧太宰府町出身の下士官兵・古城戸茂八郎 (1900 - 1939) に関する資料。元は古い大型トランクに納められ保管されていた。

資料群は主に茂八郎の従軍関係のもので構成される。軍人としての彼の経歴は、分かる限りでは次の 2 期に分けられる。

軍隊での最初のキャリアは「軍隊手牒」(資料 1-3-2) により詳細が判明する。茂八郎は明治 33(1900)年 2 月に生まれ、大正 7(1918)年 12 月、現役志願して 18 歳 (満年齢、以下同) で歩兵第 24 連隊補充隊第 1 中隊に入隊。同 8 年 11 月に上等兵に進級、同 9 年 12 月に伍長、同 10 年 10 月に軍曹に進級し、同 12 年 3 月、23 歳で連隊附を免ぜられ福岡連隊区司令部附となる。大正 8 年中のシベリアでの功績 (ハバロフスク・ブラヴェシチェンスク守備) により、同 9 年には勲 8 等瑞宝章を受けた (資料 3-3)。

次の従軍歴は、昭和 12 (1937) 年から 14 年にかけてで、同 12 年 9 月、37 歳で歩兵第 124 連隊に応召され、第 2 中隊附准尉として出征、10 月に杭州湾 (現中華人民共和国) に上陸。その後、中国の中部から南部に転じ、同 14 年 12 月の翁英作戦に第 2 中隊第 1 小隊長として参加、同月 30 日、梅坑 (広東省韶関市新豊県) で戦死する (資料 1-3-23、1-3-24)。享年 39。この間の資料は、出征時の勤務会社

(博済無尽株式会社福岡支店) から贈られた激励寄せ書き、茂八郎の戦死に対する弔詞や褒章、葬儀に関するものの他、出征中に自身の家族に宛てた手紙が多く遺されている。手紙については、文面と封筒が別々のまとまりに分けて保管されていたが、日付等から分かる限り元の組に戻した。日付や封筒の書き込みから、12 月 9 日付の 2 通 (1-3-16-12、1-3-17-12) が戦地からの最終便と思われる。

従軍関係以外の資料としては、刀剣に関するものが含まれているのが特徴的である。茂八郎は刀剣愛好家でもあり、鑑定免許状 (6-2) や、銘の説明・採択の日付等が書き込まれた刀剣押形 (1-4-22、図 2) が見られる。剣術については、大正 10 年に所属大隊での試合で表彰されている (7-2)。その他、日記が 2 点あり、年代が判明する昭和 9 年のもの (1-3-5) には、男児の誕生に関する記述等、軍役に無い時期の茂八郎をかいま見ることができる。

なお、資料群の一部は太宰府市文化ふれあい館 (太宰府市国分四丁目 9 番 1 号) に寄贈された。文化ふれあい館所蔵分は目録を分けて掲載している。

閲覧条件 事前に連絡を必要とする。

複写条件 事前に連絡を必要とする。

古城戸茂八郎関係資料

2021年11月現在

史料番号	史料名	年月日	作成者	宛所	内容	形態	点数	備考
1	〔塗箱〕	〔昭和15年〕		故 陸軍少尉 正八位勳七等功五級 古城戸茂八郎		木製(漆塗)・金泥?	1冊	破損有、蓋に「支那事變従軍悠久護皇國」と有、1-1-1～-4-39を在中
1-1-1	〔勳章〕	〔昭和14年12月30日〕		〔古城戸茂八郎〕	「勳六等単光旭日章」	金属・布	1点	箱留具破損、3-2と対
1-1-2	〔宛名標〕	〔昭和15年〕		古城戸茂八郎殿	「南支派遣軍久納部隊 長谷川部隊橋本隊」	布・絹糸	1点	劣化有、文字は刺繍による、「書留小包」印判有
1-1-3	〔袱紗〕	〔昭和9年〕			染抜「光遜(花押)」	絹布	1点	6-2と関連
1-2-1	〔勳章〕	〔大正～昭和期〕			「勳八等 白色桐葉章」	金属・布	1点	
1-2-2	〔記章〕	〔昭和14年12月30日〕			「支那事變従軍記章」	金属・布	1点	4-3と対
1-2-3	〔記章〕	〔昭和3年11月16日〕			「昭和 大禮記念章」	金属・布	1点	4-1と対
1-2-4	〔記章〕	〔大正9年11月1日〕			「大正三年乃至九年戦役従軍章」	金属・布	1点	4-4と対
1-2-5	〔記章〕	〔大正9年11月1日〕			「戦役記念」	金属・布	1点	箱書「戦捷記章」、4-2と対
1-2-6	〔勳章〕	〔昭和14年12月30日〕			「功五級金鷄勳章」	金属・布	1点	箱の蝶番破損、3-1と対
1-2-7	〔勳章〕	〔昭和2年12月23日〕			「勳七等瑞寶章」	金属・布	1点	箱の留具破損、3-4と対
1-2-8	〔記章〕	〔大正9年〕			「大正三年乃至九年戦役」	金属	1点	メダルのみ
1-2-9	〔記章〕	〔昭和3年10月18日〕			「明治二十一年 日本赤十字社」	金属・布	1点	6-1と対
1-2-10	〔記章〕	〔大正9年〕			「自大正三年 至大正九年 文明擁護之大戦 同盟及聯合國」	金属・布	1点	破損有
1-2-11	第一期種痘済證	昭和五年六月五日	福岡縣福岡市長代理助役 福井茂一(公印)	茂八郎長男 古城戸陽之助		一紙ペン・印刷	1枚	虫損・破損有
1-2-12	第一期種痘済證	昭和十一年六月七日	福岡縣福岡市長	茂八郎二男 古城戸茂義		一紙ペン・印刷	1枚	破損有
1-2-13	第二期種痘済證	昭和十三年六月三十日	福岡縣福岡市長(公印)	茂太郎[ママ]長男 古城戸陽之助		一紙ペン・印刷	1枚	
1-2-14	〔袱紗〕	〔昭和9年〕			染抜「初傳」「光遜(花押)」	絹布	1点	6-2と関連
1-3-2	軍隊手牒	〔大正7年12月1日〕	〔小〕林又七製		古城戸茂八郎のもの、履歴等	書冊墨書・印刷、布	1冊	年月日は誓文日付による

古城戸茂八郎関係資料

2021年11月現在

史料番号	史料名	年月日	作成者	宛所	内容	形態	点数	備考
1-3-3	〔備忘録〕	〔昭和期〕			人員等書上	書冊 ペン・鉛筆、 皮革	1冊	年月日は内容による
1-3-4	〔日記〕	〔6月10日～10月24日〕				書冊 ペン・鉛筆、 布	1冊	年月日は内容による
1-3-5	昭和九年 昭和當用日記	昭和八年十月一日印刷、昭和八年十月五日発行	発行所 國民出版社		古城戸茂八郎のものか、男児(茂義)誕生の記事等	書冊 ペン・鉛筆・印刷	1冊	虫損有
1-3-6-1	〔書簡〕	〔昭和12～14年〕	〔博濟無尽株式会社〕福岡支店社員一同 他多数	古城戸茂八郎殿	出征の激励文寄せ書き	継紙 墨書	1通	1-3-6-1、-3-6-2は包紙で一括、包紙上書「弔詞」(包紙破損有)
1-3-6-2	〔書簡〕	〔昭和12～14年〕	〔博濟無尽株式会社〕福岡支店一同 他多数	古城戸茂八郎殿	出征の激励文寄せ書き	継紙 墨書	1通	
1-3-7	〔弔詞〕	〔昭和15年〕	西日本男子児童代表 福岡市警固尋常小學校六年生 古城戸陽之助		3月26日靖国参拝の後の父・茂八郎への弔詞	継紙 墨書	1通	前欠、継剥離有、破損有、包紙上書「弔詞」(包紙虫損有)
1-3-8	〔覚〕	〔昭和15年〕			1月9日付福嶋准尉宛通信、古城戸茂八郎戦死の状況報告	書綴 墨書	1綴	虫損有
1-3-9	香典控帖	昭和十五年一月十五日	古城戸			長帳 墨書	1冊	墨付5丁
1-3-10	〔弔詞〕	昭和十五年三月二日	中隊長 橋本喜蔵	古城戸とめ殿	中隊第1小隊長・古城戸茂八郎の昭和14年12月30日梅抗で戦死の状況	継紙 墨書	1通	
1-3-11	〔弔詞〕	昭和十五年二月六日	市吉磯味	古城戸 御夫人様 外御家族一同様	福岡支店から勤務時の古城戸茂八郎の思い出と戦死に対する悔やみ	継紙 墨書	1通	前欠
1-3-12	〔弔詞〕	昭和十五年五月 日	福岡市今泉財産區會議員代表 區會議長 白石重利	〔古城戸茂八郎〕	古城戸茂八郎戦死に対し	継紙 墨書	1通	
1-3-13	〔弔詞〕	昭和十五年五月十八日	博濟無盡株式會社 取締役社長 伊藤傳右衛門	〔古城戸茂八郎〕	古城戸茂八郎戦死に対し	継紙 墨書	1通	
1-3-14	祭詞	昭和十五年五月十六日	福岡縣國防會長 福岡縣知事本間精		古城戸茂八郎戦死に対し	継紙 墨書	1通	破損有
1-3-15	弔詞	昭和十五年五月十八日	福岡市若宮町西部總代 勲七等 一田彦次	〔古城戸茂八郎〕		継紙 墨書	1通	

古城戸茂八郎関係資料

2021年11月現在

史料番号	史料名	年月日	作成者	宛所	内容	形態	点数	備考
1-3-16-1	[書簡]	[昭和14年]	[古城戸茂八郎]		6月18日慰問袋受け取り(海苔罐破損)、南支の氣候、「酒井様の親族の桶屋町の(後欠)」	便箋ペン	1枚	後欠、1-3-16-1～-3-16-19は一括
1-3-16-2	[書簡]	[昭和14年]五月十四日	茂八郎[南支派遣長谷川部隊橋本隊 古城戸]	とめ殿	陽之助の進路について(剣道着の写真を見て喜ぶ)、茂義の病氣について気遣い、送付希望の品等	便箋ペン	1通2枚	
1-3-16-3	[書簡]	[昭和13年]二月十四日	茂八郎	とめ殿	進藤氏福岡へ到着予定日(軍刀の帯革購入を依頼)等	便箋ペン	1通1枚	
1-3-16-4	[書簡]	[昭和13年]一月二十三日午前二時十分	父ヨリ[中支派遣小塚部隊市川隊 古城戸茂八郎]	陽之助殿	婦人会寄贈の国旗は上陸合図のため使用したので礼を述べてほしい、等	便箋ペン	1通2枚	
1-3-16-5	[書簡]	[昭和13年]十一月九日	茂八郎	とめ殿	10月12日上陸、22日広州入城、戦地の氣候と9月24日上海からおくった便の確認等	便箋ペン	1通1枚	
1-3-16-6	[書簡]	[昭和14年]五月二十四日	茂八郎	とめ様	軍刀附属品「ツリカワ」の購入依頼(図解あり)等	便箋ペン	1通2枚	
1-3-16-7	[書簡]	[昭和14年]二月四日	茂八郎	とめ様	南支の氣候と、慰問袋を贈られたので礼を言っておいてとのこと	便箋ペン	1通1枚	
1-3-16-8	[書簡]	[昭和13年]三月二十一日	茂八郎	とめ様	進藤氏帰福について、家族の状況伺い	便箋ペン	1通1枚	破損有
1-3-16-9	[書簡]	[昭和14年]四月十二日	茂八郎[南支長谷川部隊橋本隊 古城戸]	とめ様	「みきのの事」について慰労と子供たちへの気遣い等	便箋ペン	1通3枚	
1-3-16-10	[書簡]	[昭和13年]六月九日	茂八郎	とめ様	戦地近況と4月12日送金の50円の入手確認等	便箋ペン	1通1枚	
1-3-16-11	[書簡]	[昭和13年]	茂八郎	とめ殿	4月15日から湖州と杭州との間の地で警備等近況	便箋ペン	1通1枚	
1-3-16-12	[書簡]	[昭和14年]十二月九日	茂八郎	とめ殿	陽之助の成長について喜んでいる、12月には年末賞与が出る、等	便箋ペン	1通1枚	
1-3-16-13	[書簡]	[昭和13年]十二月二十四日	茂八郎	とめ様	親族・知人の近況伺い等	便箋ペン	1通2枚	
1-3-16-14	[書簡]	[昭和14年]七月十二日	茂八郎	とめ殿	戦地近況(マラリヤに困っている、等)	便箋ペン	1通1枚	
1-3-16-15	[書簡]	[昭和14年]四月十三日	茂八郎	とめ様	月隈の神社へ御礼参りの願い、自分が少尉になった噂に関し否定、慰問袋の受け取り等	便箋ペン	1通2枚	
1-3-16-16	[書簡]	[昭和14年]七月三日	茂八郎	とめ様	6月8日の小包受け取りと戦地近況等	便箋ペン	1通1枚	
1-3-16-17	[書簡]	[昭和13～14年]十月十三日	茂八郎	とめ様	進藤氏「無言の凱旋」の件と戦地近況、戦闘帽の新調依頼等	便箋ペン	1通2枚	
1-3-16-18	[書簡]	[昭和13～14年]七月二十四日	茂八郎	おとめ殿	知人から慰問袋を贈られたので礼を言っほしい	便箋ペン	1通1枚	

古城戸茂八郎関係資料

2021年11月現在

史料番号	史料名	年月日	作成者	宛所	内容	形態	点数	備考
1-3-16-19	[書簡]	[昭和14年]八月十八日	茂八郎	とめ様	戦地近況(南支)と西田源次郎氏から慰問袋を贈られた件	便箋ペン	1通1枚	
1-3-17-1	[書簡]	[昭和13年]三月二十一日	父より	陽之助様	戦地近況	便箋ペン	1通1枚	1-3-17-1~-3-17-17は一括
1-3-17-2	[書簡]	[昭和14年]四月十二日	父より[南支派遣長谷川部隊橋本隊 古城戸茂八郎]	陽之助殿	5年生に進学の祝辞と戦地での活躍報告	便箋ペン	1通1枚	
1-3-17-3	[書簡]	[昭和13~14年]二月四日	父	陽之助殿	学校の2学期の成績を知らせてほしい	便箋ペン	1通1枚	
1-3-17-4	[書簡]	[昭和13年]	[古城戸茂八郎]	[古城戸陽之助]	杭州に転地の予定と会社からの慰問袋受け取り、太宰府の中川勇氏も南京攻撃の時に来ていたはずだが会えなかった、等	便箋ペン	1通2枚	
1-3-17-5	[書簡]	[昭和14年]五月十四日	父より	陽之助殿	進路について同意と、太宰府の五郎君の父の動静伺い等	便箋ペン	1通2枚	
1-3-17-6	[書簡]	[昭和12~13年]九月十二日	茂八郎[長谷川部隊市川隊 古城戸]	陽之助殿	博多から相良氏立ち寄り、恩賜の煙草を預けた件等	便箋ペン	1通1枚	
1-3-17-7	[書簡]	[昭和13年]四月十三日	父ヨリ[南支派遣長谷川部隊市川隊 古城戸茂八郎]	陽之助 房枝 茂義 殿	支那での小学校の様子等近況	便箋ペン	1通1枚	
1-3-17-8	[書簡]	[昭和12年]	[古城戸茂八郎]		「二中隊附ニナツタ 神様ニ参ッテ オタヅネシテ下サイ」	一紙色鉛筆	1枚	反古使用
1-3-17-9	[書簡]	[昭和14年]十一月七日	父より[南支派遣中村(次)部隊 橋本隊 古城戸茂八郎]	陽之助殿	成績を上げるため勉励することと、戦地近況等	便箋ペン	1通1枚	
1-3-17-10	[書簡]	[昭和13年]六月九日	父ヨリ	陽之助 房枝 茂義 殿	4~5月の戦況等	便箋ペン	1通2枚	
1-3-17-11	[書簡]	[昭和14年夏]	[古城戸茂八郎]	陽之助殿	1学期の成績伺い等と南支の気候	便箋ペン	1通1枚	
1-3-17-12	[書簡]	[昭和14年]十二月九日	父ヨリ[南支派遣中村(次)部隊 橋本隊 古城戸茂八郎]	陽之助殿	近況や絵葉書を送る予定等	便箋ペン	1通1枚	封筒に「最後ノ手紙」と有(赤鉛筆)
1-3-17-13	[書簡]	[昭和13年]七月二十四日	父ヨリ[中支派遣長谷川清部隊市川隊 古城戸茂八郎]	陽之助 房枝 茂義 様	寺崎正行氏住所を知らせてほしい等	便箋ペン	1通1枚	
1-3-17-14	[書簡]	[昭和13年]	[古城戸茂八郎]	陽之助 房枝 茂義 様	南支上陸後の戦地近況等	便箋ペン	1通1枚	

古城戸茂八郎関係資料

2021年11月現在

史料番号	史料名	年月日	作成者	宛所	内容	形態	点数	備考
1-3-17-15	[書簡]	[昭和13年]七月十二日	父ヨリ〔中支派遣長谷川清部隊小室部隊市川隊古城戸茂八郎〕	陽之助 房枝 茂義殿	写真受領について、絵葉書送付の受け取り伺い等	便箋ペン	1通1枚	封筒破損有
1-3-17-16	[書簡]	[昭和13~14年]	父ヨリ	陽之助 房枝 茂義殿	息子たちへの注意や戦地近況等	便箋ペン	1通1枚	
1-3-17-17	[書簡]	[昭和13~14年]	父	陽之助 房枝 殿	2学期の成績等近況伺い	便箋ペン	1通1枚	
1-3-18	[書簡]	[昭和15年]二月十六日	〔中支派遣柳川部隊牛島部隊小塚部隊廣瀬部隊本部〕廣瀬清	[古城戸トメ殿]	古城戸茂八郎戦功につき	便箋ペン・カーボン	1通1枚	
1-3-19	[絵葉書]	[昭和12年]十月九日	門司市新清滝町古城戸茂八郎	福岡市若宮町古城戸陽之助殿	近況伺い(絵柄は門司税関波止場)	葉書ペン・色刷・スタンプ	1枚	
1-3-20	[封筒一括]	[昭和12~14年]	[古城戸茂八郎]	[古城戸陽之助]		封筒墨書・ペン・鉛筆・スタンプ	8枚	在中物は1-3-16,-3-17,-4-26のいずれかと思われる(日付等により在中物が判明したものは対に戻した)
1-3-21-1	軍人遺族記章	[昭和17年]	[陸軍省]	[古城戸トメ]		金属組紐	1点	1-3-21-1~-3-21-3は封筒で一括(封筒上書「靖國神社臨時大祭合祀者遺族参列手當」)
1-3-21-2	[記章]	昭和十七年十月				金属	1点	
1-3-21-3	軍人遺族記章授與證書	昭和十七年一月一日	陸軍省(公印)	故陸軍歩兵少尉古城戸茂八郎妻古城戸トメ	第4110号	一紙ペン・印刷・スタンプ	1枚	破損有
1-3-22	[封筒]	[昭和9年]五月廿八日	嘉穂郡大隈町久恒鉱業所 山崎政太	福岡市大字今泉古城戸茂八郎殿至急親展		封筒ペン・スタンプ	1枚	在中物無し、破損有、年代は消印による
1-3-23	戦死情況報告	昭和十五年一月九日	歩兵第二百二十四聯隊長 陸軍歩兵大佐 中村次喜蔵		陸軍歩兵少尉古城戸茂八郎戦死の状況	用箋カーボン	1組2枚	綴り跡有、陸軍用箋使用
1-3-24	[弔詞]	昭和十五年一月十日	大隊長 小山滋		古城戸茂八郎戦死に対し	用箋鉛筆・カーボン	1綴	陸軍用箋使用、電子式複写1部有

古城戸茂八郎関係資料

2021年11月現在

史料番号	史料名	年月日	作成者	宛所	内容	形態	点数	備考
1-4-1-5	〔円形略綬〕	〔大正～昭和期〕				金具・布	1点	
1-4-2	〔肖像〕	〔昭和15年以降〕	贈呈 歸還部下一同		古城戸茂八郎肖像(博多中西織)	絹織物	1枚	
1-4-3	〔人名録〕	〔昭和10年代〕			「八幡市昭和町 大和馨」他82名の住所氏名	書綴墨書	1綴	封筒在中(上書「人名録」)
1-4-4	〔絵葉書〕	〔昭和13年〕9.21日	中支 長谷川部隊市川隊 古城戸茂八郎	福岡市若宮町 古城戸陽之助殿	近況と別に絵葉書送付の件(絵柄は「中興路 敵トーチカ 二十七日完全占領(高橋亮)」)	葉書ペン・色刷	1枚	
1-4-5	〔書簡〕	〔昭和13年〕	中支派遣 長谷川清部隊 小室部隊市川隊 古城戸茂八郎	福岡縣福岡市若宮町 古城戸陽之助殿	上海近況と勲七等瑞宝章拝受の年月日を問う	一紙墨書・ペン・色刷	1枚	行軍風景の挿図有
1-4-6	〔葉書〕	〔昭和15～20年〕3月十日	福岡縣福岡市若宮町 古城戸房江	香川縣小豆郡湊崎村若潮部隊七生隊之一 古城戸陽之助様	近況とシャツの配給に当たった件	葉書鉛筆	1枚	
1-4-7	〔葉書〕	〔昭和41年3月23日〕	前原町口 馬場五郎、則子より	福岡市若前〔宮〕町 古城戸トメ様 方 広川ハナ子様	先日のり子氏が世話になった礼と、糸島の花子氏へのことづけ	葉書ペン・スタンプ	1枚	年月日は消印による
1-4-8	〔葉書〕	昭和四十年七月十六日	福岡市六本松一丁目一 福岡県護国神社	市内若宮町 古城戸トメ様	「みんなで英霊を慰める祭」での献燈の礼と領収、祭典の案内	葉書ペン・印刷	1枚	
1-4-9	〔葉書〕	昭和四十年七月十六日	福岡市六本松一丁目一 福岡県護国神社	市内若宮町 持永孝幸様	「みんなで英霊を慰める祭」での献燈の礼と領収、祭典の案内	葉書ペン・印刷	1枚	
1-4-10	〔葉書〕	〔昭和40年10月9日〕	福岡市警固本通二丁目 緒方啓一郎	福岡市若宮町 古城戸トメ様 児島トミ様	市遺族連合大祭への案内	葉書ペン・スタンプ	1枚	年月日は消印による
1-4-11	〔書簡〕	〔昭和13年〕	中支派遣 小塚部隊市川隊 古城戸茂八郎	福岡市若宮町 古城戸陽之助殿	進藤君の父が戦死者の遺骨を内地に持ち帰る件等	一紙ペン・色刷	1枚	行軍風景の挿図有
1-4-12	支那事變従軍 戦友名簿	〔昭和14年〕	第二中隊		戦闘略報掲載(昭和12年11月5日～13年12月21日)	書冊印刷	1冊	徴跡有、年代は内容による
1-4-13	〔弔詞〕	〔昭和15年1月15日〕	谷口兵作 他23名〔南支派遣軍久納部隊中村(次)部隊 橋本隊 谷口兵作 外一同〕	古城戸とめ様	古城戸茂八郎戦死に対し	切紙墨書	1通3枚	封筒は3辺を切断
1-4-14	〔「顕忠府」扁額写真〕	〔昭和15年〕			裏表の写真図版	一紙印刷	1枚	

古城戸茂八郎関係資料

2021年11月現在

史料番号	史料名	年月日	作成者	宛所	内容	形態	点数	備考
1-4-15	野邊帖	[昭和15年]	古城戸		古城戸茂八郎葬儀参列者名	長帳 墨書	1冊	
1-4-16	野邊帳	[昭和15年]	古城戸家		古城戸茂八郎葬儀参列者名	長帳 墨書	1冊	
1-4-17	野邊帖	[昭和15年]	古城戸家		古城戸茂八郎葬儀参列者名	長帳 墨書	1冊	
1-4-18	弔電控帖	[昭和15年]	古城戸家		古城戸茂八郎宛弔電差出人名	長帳 墨書	1冊	墨付1丁、水濡れ跡有
1-4-19	悔帖	[昭和15年]	古城戸		古城戸茂八郎参拝者等人名	長帳 墨書	1冊	墨付6丁、水濡れ跡有、裏表紙破損有
1-4-20	古城戸茂八郎戦死供物控帳	昭和拾五年壺月拾四日				長帳 墨書・ ペン	1冊	墨付5丁、虫損有、表紙綴りはずれ
1-4-21	大福帳	昭和十二年第一月十日			金銭書上、出征の際の寄付金カ	長帳 墨書・ ペン	1冊	墨付7丁、破損有(表紙セロハンテープで補修有)
1-4-22	[刀剣押形一括]	[昭和8年]	[古城戸茂八郎]		銘の説明、採拓年月日、採拓場所等	一紙 墨書・ ペン・ 鉛筆	53枚	虫損有、年月日は内容による
1-4-23	[掛紙]	[大正～昭和期]	朱印「官幣大社 宗像神社」	福岡 古城戸茂八郎殿	「御短刀 大阪 月山近則」	一紙 墨書	1枚	
1-4-24	弔詞	昭和十五年五月十八日	歸還部下代表 陸軍歩兵軍曹 岩橋一郎		古城戸茂八郎戦死に対し	一紙 墨書	1枚	
1-4-25	[封筒]	[昭和15年]	福岡縣國防會	故古城戸少尉御霊前		封筒 墨書・ 印刷	1枚	破損有、在中物無し
1-4-26-1	[書簡]	[昭和13年]六月二十二日	茂八郎	陽之助殿	福岡陸軍病院に入院中の加藤常雄軍曹の見舞に行くよう	便箋 ペン	1通2枚	1-4-26-1～-4-26-5は一括、破損有
1-4-26-2	[書簡]	[昭和12～14年]十二月十七日	父[小塚部隊市川隊 古城戸茂八郎]	陽之助君	12月10日朝の戦闘で中隊に死傷者が出たが、本人も進藤君の父も元気	便箋 ペン	1通1枚	両面に筆記
1-4-26-3	[書簡]	[昭和14年]七月三日	父[南支 長谷川部隊橋本隊 古城戸茂八郎]	陽之助殿	出征時も習字・綴方・図画等の能力が役立ったため、しっかり勉強しなさい	便箋 ペン	1通1枚	
1-4-26-4	[書簡]	[昭和13年]一月六日午後七時五十分	杭州より 父	陽之助殿	歯痛のためゲネーゼンを送ってほしい、今日は進藤准尉の中隊に行き煙草・片栗粉等をもらった、等	便箋 ペン	1通1枚	両面に筆記
1-4-26-5	[書簡]	[昭和13年]二月十四日	父ヨリ	陽之助殿	真砂氏来訪の件と、歯の治療をしたので安心を、等	便箋 ペン	1通1枚	

古城戸茂八郎関係資料

2021年11月現在

史料番号	史料名	年月日	作成者	宛所	内容	形態	点数	備考
1-4-27	〔封筒〕	〔昭和13～14年〕	南支派遣 中村 (次)部隊橋本隊 古城戸茂八郎	福岡縣福岡市若 宮町 古城戸陽之 助殿		封筒 ペン・ スタン プ	1枚	在中物無し
1-4-28	〔葉書〕	昭和四十年七月十 六日	福岡市六本松一 丁目 福岡県護 国神社	福岡市若宮町 馬 場八十様	「みんなで英霊を慰める祭」での 献燈の礼と領収、祭典の案内	葉書 ペン・ 印刷	1枚	
1-4-29	〔葉書〕	昭和四十年七月十 六日	福岡市六本松一 丁目 福岡県護 国神社	市内若宮町 児島 トミ様	「みんなで英霊を慰める祭」での 献燈の礼と領収、祭典の案内	葉書 ペン・ 印刷	1枚	
1-4-30	〔葉書〕	昭和四十年七月十 六日	福岡市六本松一 丁目 福岡県護 国神社	市内若宮町 深見 サダ様	「みんなで英霊を慰める祭」での 献燈の礼と領収、祭典の案内	葉書 ペン・ 印刷	1枚	
1-4-31	〔覚〕	〔昭和10年代〕			臼杵發与他4名の住所書上	便箋 鉛筆	1枚	
1-4-32	〔封筒〕	〔昭和期〕	福岡縣飯塚市 博 濟無盡株式會社	古城戸茂八郎殿		封筒 墨書・ 印刷	1枚	在中物無し
1-4-33	〔書簡〕	〔昭和15年2月26日〕	市川加平男(神奈 川県座間町 陸軍 士官学校生徒隊 大尉)	古城戸トメ様	古城戸茂八郎戦死のお悔みと、 公私とも親しくしていた事等	継紙 墨書	1通	年月日は内容と封筒による(封 筒破損有)
1-4-34	〔書簡〕	〔昭和12年〕十月八 日ゴゴ六時	〔門司市元清滝町 古城戸茂八郎〕 父ヨリ	陽之助殿	防空演習中、暗闇の中誤って落 下したがケガは無かった、太宰 府内山のトリカヒ上等兵に助け 起こされたので礼を言ってほし い、等	罫紙 ペン	1枚	破損有(セロハンテープで補修 有)、年代は内容と封筒による
1-4-35-1	決算書	〔昭和15年以降〕	西若宮町三ノ組長 竹内朝次(朱印)		炭代・電燈料等計146円22銭	一紙 墨書・ ペン	1枚	1-4-35-1、-4-35-2は同折
1-4-35-2	〔受取書〕	〔昭和15年以降〕	西若宮町三ノ組長 竹内朝次(朱印)		位牌・引き伸ばし写真等85円90 銭	一紙 墨書・ ペン	1枚	
1-4-36	町遺族台帳	〔昭和15年以降〕		古城戸様	戦没者遺族住所等一覧	罫紙 ペン・ 印刷	1枚	
1-4-37	〔賞状〕	昭和十四年十二月 三十日	吉内大臣従一位 勲一等松平恒雄 宣	勲七等古城戸茂 八郎	叙正八位	一紙 墨書	1枚	
1-4-38	〔辞令〕	昭和十四年十二月 三十日	内閣総理大臣正 三位勲一等阿部 信行宣	陸軍歩兵准尉勲 七等古城戸茂八 郎	任陸軍歩兵少尉	一紙 墨書	1枚	
1-4-39	〔封筒〕	〔昭和41年〕	福岡県護国神社		「昭和四十一年春季大祭御案 内」記載	封筒 印刷	1枚	
2	牛島部隊将校並高等文官職員表	昭和十二年十月一 日調	牛島部隊本部調 査			一紙 青焼	1枚	破損有(裏をガムテープで補修 有)

古城戸茂八郎関係資料

2021年11月現在

史料番号	史料名	年月日	作成者	宛所	内容	形態	点数	備考
3-1	[賞状]	昭和十四年十二月三十日	賞勳局總裁従三位勳一等 下條康麿(公印)	正八位勳七等古城戸茂八郎	功五級に叙し金鷄勳章を授与	専用紙書・墨書・色刷	1枚	3-1～-4は賞状筒で一括(蓋に「功5 勳6.7.8」貼紙有)、1-2-6と対
3-2	[賞状]	昭和十四年十二月三十日	賞勳局總裁従三位勳一等 下條康麿(公印)	正八位勳七等古城戸茂八郎	勳六等に叙し単光旭日章を授与	専用紙書・墨書・色刷	1枚	1-1-1と対
3-3	[賞状]	大正九年十一月一日	賞勳局總裁正四位勳二等 伯爵兒玉秀雄(公印)	古城戸茂八郎	勳八等に叙し瑞宝章を授与	専用紙書・墨書・印刷	1枚	
3-4	[賞状]	昭和二年十二月二十三日	賞勳局總裁従四位勳二等 天岡直樹(公印)	勳八等古城戸茂八郎	勳七等に叙し瑞宝章を授与	専用紙書・墨書・鉛筆・印刷	1枚	1-2-7と対
4-1	大禮記念章之證	昭和三年十一月十六日	賞勳局總裁正四位勳二等 天岡直樹(公印)	陸軍歩兵曹長勳七等古城戸茂八郎	大禮記念章を授与	専用紙書・墨書・色刷	1枚	4-1～-4は賞状筒で一括(蓋に「大禮 従軍・戦捷」貼紙有)、1-2-3と対
4-2	戦捷記章之證	大正九年十一月一日	賞勳局總裁正四位勳二等 伯爵兒玉秀雄(公印)	陸軍歩兵上等兵古城戸茂八郎	戦捷記章を授与	専用紙書・墨書・印刷	1枚	1-2-5と対
4-3	支那事變従軍記章之證	昭和十四年十二月三十日	賞勳局總裁従三位勳一等 下條康麿(公印)	陸軍歩兵少尉正八位勳七等古城戸茂八郎	従軍記章を授与	専用紙書・墨書・印刷	1枚	虫損有、1-2-2と対
4-4	大正三年乃至九年戦役従軍記章之證	大正九年十一月一日	賞勳局總裁正四位勳二等 伯爵兒玉秀雄(公印)	陸軍歩兵上等兵古城戸茂八郎	従軍記章を授与	専用紙書・墨書・印刷	1枚	1-2-4と対
5-1	[給与辞令]	大正十年六月一日	公印「歩兵第二十四聯隊」	陸軍歩兵伍長古城戸茂八郎	給一等給	専用紙書・墨書	1枚	5-1～-5は賞状筒で一括(蓋に「年金 給金」貼紙有)
5-2	[給与辞令]	大正十一年四月二十一日	公印「歩兵第二十四聯隊」	陸軍歩兵軍曹古城戸茂八郎	給三等給	専用紙書・墨書	1枚	
5-3	[賜金辞令]	昭和十五年九月二日	公印「陸軍省印」	故陸軍歩兵少尉古城戸茂八郎妻古城戸トメ	金3000円を賜う	一紙墨書・ペン	1枚	端裏「昭和十六年一月二日」

古城戸茂八郎関係資料

2021年11月現在

史料番号	史料名	年月日	作成者	宛所	内容	形態	点数	備考
5-4	[賞状]	昭和十四年十二月三十日	賞勳局總裁從三位勲一等 下條康麿(公印)	陸軍歩兵少尉正八位勲七等 古城戸茂八郎	功五級金鷄勲章並びに年金350円及び勲六等単光旭日章を授与	一紙 墨書・ペン・スタンプ	1枚	1-1-1,-2-6,3-1,-2と関連、端裏「昭和十六年五月十日」、裏に「上奏原簿」スタンプ有
5-5	[賜金辞令]	昭和十四年十二月三十日	勲章局總裁從三位勲一等 下條康麿(公印)	陸軍歩兵少尉正八位勲七等 古城戸茂八郎	金850円を賜う	一紙 墨書・スタンプ	1枚	裏に「上奏原簿」スタンプ有
6-1	[社員辞令]	昭和三年十月十八日	日本赤十字社總裁 大勲位功二級 載仁親王(公印) 日本赤十字社社長 正二位勲一等 男爵平山成信(公印)	勲七等古城戸茂八郎	正社員に列す	専用紙 墨書・印刷	1枚	6-1,-2は賞状筒で一括(蓋に「日赤 免許」貼紙有)、1-2-9と対
6-2	[免許状]	昭和九甲戌年七月日	本阿弥光遜(花押)	古城戸茂八郎殿	刀劍鑑定道において初伝を免許	折紙 墨書	1通	1-1-3,-2-14と関連
7-1	賞状	大正九年七月二十四日	歩兵第二十四聯隊第一中隊長 陸軍歩兵大尉正七位勲六等 脇屋義城(公印)	歩兵第二十四聯隊第一中隊長 陸軍歩兵上等兵 古城戸茂八郎	中隊特別射撃において優秀の成績につき表彰	専用紙 墨書・印刷	1枚	7-1~-3は賞状筒で一括(蓋に「射撃 劍術」貼紙有)
7-2	賞状	大正十年二月二十二日	歩兵第二十四聯隊第一大隊長 陸軍歩兵少佐正六位勲四等 平野晴次郎(公印)	歩兵第二十四聯隊第一中隊長 陸軍歩兵伍長 古城戸茂八郎	大隊劍術試合において優等の成績につき表彰	専用紙 墨書・印刷	1枚	
7-3	賞状	大正十一年五月十八日	歩兵第二十四聯隊長陸軍歩兵大佐從五位勲三等 功五級 河野銚次郎(公印)	歩兵第二十四聯隊第一中隊長 陸軍歩兵軍曹 古城戸茂八郎	聯隊特別射撃において優等の成績につき表彰	専用紙 墨書・印刷	1枚	破損有
11	[肖像写真]	[昭和13~14年]			古城戸茂八郎、軍服姿	一紙 銀塩	1点	年代は着用軍服による

太宰府市文化ふれあい館所蔵分(史料番号は、史料受け入れ時に付したものを採録)

史料番号	史料名	年月日	作成者	宛所	内容	形態	点数	備考
1-3-1-1	〔絵画〕	〔昭和15年以降〕	陸軍恤兵部発行 凸版印刷株式會社謹製		「遺族靖國神社昇殿参拝 早田三四郎畫伯謹筆」	一紙色刷	1枚	1-3-1-1～3-1-3は筒で一括、筒に「御寫眞 靖國神社」等有り、年月日は内容による
1-3-1-2	〔絵画〕	〔昭和15年以降〕	陸軍省発行		「徐州會見」	一紙色刷	1枚	
1-3-1-3	〔絵画〕	〔昭和15年以降〕	陸軍恤兵部発行 凸版印刷株式會社謹製		「天皇陛下靖國神社御親拝 早田三四郎畫伯謹筆」	一紙色刷	1枚	
1-4-1-1	〔陸軍肩章〕	〔大正10年〕			軍曹	金具・布	1組2点	1-4-1-1～4-1-6は封筒で一括(封筒上書「靖國神社臨時大祭合祀者遺族参列手當」、虫損有、年代は軍隊手帳(1-3-2)履歴による
1-4-1-2	〔陸軍肩章〕	〔昭和12～14年〕			准尉	金具・布	3組6点	虫損有
1-4-1-3	〔陸軍襟章〕	〔昭和12～14年代〕			准尉	金具・布	1点	虫損有
1-4-1-4	〔略綬板〕	〔昭和3年以降〕			大正三年乃至九年戦役従軍記章・戦捷記章・昭和大礼記念章	金具・布	1組3点	年代は昭和大礼記念章の授受年による
1-4-1-6	〔認識票〕	〔昭和12～14年〕			「歩一二四 准尉 古城戸茂八	真鍮	1枚	紐付き
8	〔弁当箱〕	〔大正～昭和期〕			古城戸茂八郎使用カ	アルミ製	1点	破損有
9	〔水筒〕	〔大正～昭和期〕			古城戸茂八郎使用カ	アルミ製・布製	1点	
12	〔写真〕	〔昭和15年以降〕			大名小学校における陸軍弔魂祭(兵員整列)	一紙	1枚	
13	〔写真〕	〔昭和15年以降〕			大名小学校における陸軍弔魂祭(玉串・参列者着席)	一紙	1枚	
14	〔写真〕	〔昭和14年以降〕	朝日新聞社謹製		「聖上陛下靖國神社に御親拝 昭和十四年十月二十日靖國神社臨時大祭」	一紙銀塩	1枚	
15-1	平和の礎 大東亜戦絵画美術史	昭和四十一年四月十五日印刷 昭和四十一年四月二十日発行	発行所 社団法人日本郷友連盟			書冊印刷	1冊	函有、15-2は見開きに挟み込み
15-2-1	〔案内状〕	〔昭和40年代〕	社団法人日本郷友連盟 会長 後宮淳(公印)	全国運輸農業協同組合連合会 仙台支所支所長 古城戸陽之助 殿	画集「平和の礎」購入のお願い	切紙墨書・印刷	1通1枚	15-2-1～2-3は封筒で一括

古城戸茂八郎関係資料

2021年11月現在

史料番号	史料名	年月日	作成者	宛所	内容	形態	点数	備考
15-2-2	依頼状	[昭和40年代]	社団法人日本郷友連盟 宮城縣郷友会長 東海林俊成	全国運輸農業協同組合連合会 仙台支所支所長 古城戸陽之助 殿	画集「平和の礎」購入のお願い	切紙印刷・ペン・スタンプ	1通1枚	
15-2-3	[名刺]	[昭和40年代]	社団法人日本郷友連盟 編集部 山本茂(朱印)	古城戸様	「電話で失礼申上ました。何卒よろしくお願い申上ます」	一紙印刷・ペン	1枚	